

参考書	到達レベル	補足
0 <a href="#">荻島の数学 I・Aが初歩からしっかり身につく</a>	0 ⇒ 基礎理解	マセマの始めから始めるでも可
<a href="#">荻島の数学 II・Bが初歩からしっかり身につく</a>		ドラゴン桜が分からない場合は読む
1 <a href="#">ドラゴン桜式数学カドリル1A</a>	基礎理解 ⇒ センター4割	
<a href="#">ドラゴン桜式数学カドリル2B</a>		
α <a href="#">元気になる数学</a>		エッセンシャルが難しい時は挟む
2 <a href="#">センター攻略 山本俊郎の数学 I・A エッセンシャル34</a>	4割 ⇒ 7割	『快速!解答センター試験数学1・A』でも可。 『センチャ』は使い方注意。
<a href="#">センター攻略 山本俊郎の数学 II・B エッセンシャル40</a>		
3 <a href="#">センター試験過去問10回～20回分</a>	7割 ⇒ 8割	追試は余裕あればorテスト用に
4 <a href="#">マーク式総合問題集数学1・A 2017</a>	8割 ⇒ 9割	駿台、Z会は使いづらく解説が不親切なため苦手な人には不向き。河合東進が物足りなくなってきた人は駿台Z会もやってもよい。
<a href="#">マーク式総合問題集数学2・B 2017</a>		
5 <a href="#">センター試験本番レベル模試 数学I・A</a>		
<a href="#">センター試験本番レベル模試 数学II・B</a>		
6 <a href="#">合格!数学1・A実力UP!問題集</a>	9割 ⇒ 二次合格点	
<a href="#">合格!数学2・B実力UP!問題集</a>		
7 <a href="#">志望大学の過去問演習</a>		

基本は1の『ドラゴン桜』から。早めに1冊を完璧にする。1Aを完全に完成させてから2Bを始めるのは効率が悪い（数1Aも意外にひっかかる分野があるし2Bの方が苦手な人が多く早めに初めたほうが良い）。順番は1A「式と計算→二次関数→三角比→確率」2B「指数対数→微積→ベクトル→三角関数→数列」で進めると良い。確率は難しいので早い段階から後半までやり続ける。あるいは一気に攻略する。指数対数は点数が上がりやすい。微積はパターンが単純で得点源にしやすい。ベクトルも意外に機械的な作業が多かったり図を書けば終わりってパターンも多い。三角関数は躓くポイントが所々ある、数列は複雑で色々厄介な分野で勉強が止まる事もあるのでなるべく後回しに。新課程分野も後回しにして一気に攻略する。

どの大学であれ、最短でセンター8割以上で安定することをゴールに勉強する。8割取れば自信も付くし勉強法に確信が持てるので勉強自体が加速化・効率化する。